

【用語解説】

本文中で「〇〇※」と表示した用語の解説。用語の後ろの数字は、当該用語の記載されているページ番号。

ア行

アウトドアツーリズム 66

キャンプや登山、スキーなど、野外での活動を目的とした旅行形態。

アドベンチャートラベル 66

アクティビティ、自然、異文化体験の3要素のうち、2つ以上を含む旅行形態。

インフラ 14、32、36、37

水道や道路、電力網などの社会基盤。

遠軽町まちづくり自治基本条例 2、16

住民自治に基づくまちづくりの基本原則を定めた条例。

オープンデータ化 36、37

国や地方公共団体などが保有するデータのうち、許されたルールの中で誰もが自由に利用できるよう公開されるデータのこと。

カ行

合葬墓 52、53

一つのお墓に宗教宗派や血縁等にこだわらず、複数の方のお骨を納める合葬式の墓。

企業振興促進 64

遠軽町企業振興促進条例第1条に基づき、町内で工場等を新設、移転及び増設する企業に対して、その費用の一部を補助する制度。

グリーンツーリズム 55

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

下水道経費回収率 43

下水道使用料で回収すべき経費をどの程度下水道使用料で賄えているかを表す指標で、100%を上回っている場合、汚水処理に要する費用を下水道使用料で賄われていることを表す。

下水道水洗化率 43

下水道整備済み区域内で下水道に接続して汚水进行处理している人口を表す指標。

公共交通経費額 35

遠軽町が負担する移動支援等に係るソフト事業経費。

公共交通収支率 35

町内循環線、社名淵線、遠軽丸瀬布線、丸瀬布上武利線、瀬戸瀬温泉線及び清里線の収入及び支出額から支出と収入の比率を表すもの。

コンパクトシティ 30

都市の郊外化を抑制し、市街地のスケールを小さく保ち、歩いて行ける範囲を生活圏と捉え、コミュニティの再生や暮らしやすいまちづくりを目指すもの。

サ行

財政調整基金 108

地方公共団体が年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金。財源に余裕がある年度に積み立てておき、災害など必要やむを得ない理由で財源不足が生じた年度に活用する。

サイバー犯罪 13

インターネットやコンピューターを利用して行われる犯罪のこと。

サービスデザイン 106

サービスの価値を顧客視点で創造し、継続して提供できる組織や仕組みを構築すること。

ジオパーク 26、99

「大地の公園」を意味し、それぞれの地域の大地(ジオ)の上で、動植物などの自然(エコ)が広がり、その中で私たち(ヒト)が暮らしているというつながりを楽しく知ることができる場所。

指定管理者制度 106

多様化する市民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、民間の能力を活用し公の施設の管理を行う。

循環型社会 50、58

大量生産・大量消費・破棄の社会から、製品の再生利用や再資源化などを進めて資源の消費をできるだけ抑え、廃棄物ゼロを目指す社会。

障がい者の一般就労移行 85

障害のある方に対して、一般企業で働くために支援する制度。

障害者福祉施設 85

障害のある方に対して、日常生活上の支援を行う施設。

水道有収率 43

施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標。

水道料金回収率 43

水道料金で回収すべき経費をどの程度水道料金で賄えているかを表す指標で、100%を上回っている場合、給水に係る費用が給水収益で賄われていることを表す。

スマート化 37

業務や生活の質を向上させること。

スマート農業 54、55

ロボット技術や情報通信技術を活用して、省力化・精密化や高品質生産の実現などを推進する新たな農業のこと。

生物多様性 58、59

地球上には多種多様な生物が存在し、それらが互いにつながりを持っていること。

ゼロカーボン 26、27

地球温暖化の原因となる温室効果ガス(二酸化炭素など)の排出量を、森林などが吸収する量以下にすることで、温室効果ガスの実質的な排出量をゼロにすること。

夕行

滞水池 42

集中豪雨による湧別川の濁水時にも水道水を安定して供給するために、湧別川の水を滞水するための施設。湧別川が濁ったときには浄水場内への流入を止めて、川の流水がきれいになった時点で再度取水する運用ができる。

地域おこし協力隊 100

地方自治体が地域の活性化や課題解決を目的に外部から人材を招き、一定期間地域に定住・活動してもらう制度。

地域センター病院・地方センター病院 76

北海道が指定した、圏域ごとに一定の要件を備えた中核医療機関。複数の市町村を単位とする2次医療圏の中心的医療機関のことを「地域センター病院」といい、さらに広域となる3次医療圏の中心的医療機関のことを「地方センター病院」という。

地産地消 26

地元で生産されたものを地元で消費すること。

地販地消 62、63

地元で生産・加工・販売されるものを地元で購入・消費すること。

地理情報システム(G I S) 30

デジタル化された地図(地形)データと、統計データや位置の持つ属性情報などの位置に関連したデータとを、統合的に扱う情報システム。(G I SはGeographic Information Systemの略)

デジタルデバイト 37

インターネットやパソコンなどの情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のこと。

テレビ難視聴共同受信設備 37

地上デジタル波が受信できない難視聴地域に有線共聴施設を整備し、テレビ組合で管理をしている。

店舗近代化 64

遠軽町商工業振興条例第1条に基づき、町内で小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業を営む者または営もうとする者が店舗を近代化(新築、増築、改築、移転、新設、増設、改修)する場合に、その費用の一部を補助する制度。

ドクターヘリ 76

医療機器や医薬品を装備し、医師・看護師が搭乗して救急現場などに向かい、救命治療を行う救急医療専用のヘリコプター。

特定空家 39

そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態その他周辺的生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等という。

ナ行

認知症サポーター 83

認知症に関する知識と理解を持ち、認知症の本人と家族が必要としている支援を、できる範囲で行う人たちで、養成講座を受けるだけで誰でもなることができる。

認定こども園 80、81

教育・保育を一体的に行う施設。また、子育て支援の場も用意されており、園に通っていない子どもの家庭でも、子育て相談や親子の交流の場への参加などができる。

ノーマライゼーション 85

障がいを持つ人など社会的弱者が特別な存在ではなく、健常者と同じような生活が営めるようにすること。

ハ行

バイオマス 21

生物資源(B i o)の量(M a s s)を表す言葉で、再生可能な、生物由来の有機性資源(化石燃料は除く)のこと。

パブリックコメント手続 4

行政が政策、制度などを決定する際に、町民の意見を聞いて、それを考慮しながら最終決定を行う仕組み。

バリアフリー 84、85

社会におけるさまざまなバリア(障壁)を取り除くこと。施設や設備のほか、考え方など精神的な部分でも、さまざまなバリアがあるといわれている。

パリ協定 52

第21回気候変動枠組条約締約国会議(C O P 21)で採択された気候変動に関する国際条約(2016年11月に発行)。世界共通の目標として、平均気温の上昇を産業革命前と比べ2度より十分に低く保つとともに、1.5度に抑える努力を追求し、また、これを達成するため、今世紀後半に、人間活動による温室効果ガスの排出量を実質的にゼロにすることを掲げている。

ふるさと納税 66、108

納税者が自分の住んでいる自治体ではなく、好きな自治体に寄附を行うことで、その寄附額の一部が所得税や住民税から控除される制度。この制度を利用し、寄附を受けた自治体は、寄附のお礼として寄附者に特産品や返礼品を送付することが多い。

マ行

木育 58

子どもをはじめとする全ての人が「木とふれ合い、木に学び、木と生きる」取組。

ヤ行

ユニバーサルデザイン 30

誰にとっても使いやすいデザインのこと。

ラ行

ラストワンマイル交通 34

鉄道駅やバス停から自宅までの交通手段のこと。

英数字

A E D 44、45

自動体外式除細動器。心臓の停止の際に電気ショックを与え、心臓の動きを戻すことを試みる医療機器。
(Automated External Defibrillatorの略)

D X 14

将来の成長、競争力強化のために、デジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。

I C T 89

情報通信技術。

N P O 84

営利を目的としない民間の活動組織。(Non Profit Organizationの略)

P D C Aサイクル 106

プロジェクトの実行に際し、「計画を立て(P l a n)、実行し(D o)、その評価(C h e c k)に基づいて改善(A c t i o n)を行うという工程を継続的に繰り返す」仕組み。

S D G s 52

Sustainable Development Goalsの略。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための目標であり、17のゴールと169のターゲットで構成される。

S N S 13、48、49

Social Networking Serviceの略。インターネット上で人々がつながり、コミュニケーションを取るためのサービスやプラットフォームを指す。代表的なSNSとして、L I N EやF a c e b o o k などがある。

S o c i e t y 5.0 14

ロボット、人工知能(A I)など新たな先端技術をあらゆる産業、社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会。

6次産業 54、55、62、63

1次産業である農林水産業が、2次産業である加工製造や3次産業である販売なども行うこと。